

# コンビニ及び

# ペイジー収納の実施

群馬県 桐生市

人口：128,478人

面積：274.57km<sup>2</sup>

**担当部署：企画課**

## 概要

納税者の利便性（納付方法の拡大）、納期内納付率及び督促状等に係る経費の節減を図るために、平成20年4月から市県民税（普通徴収）固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の4税で、コンビニ及びペイジー収納を実施した。

### ペイジー

「Pay-easy（ペイジー）」とは、金融機関のインターネットバンキング、モバイルバンキング及びATM（ペイジー対応型）から市税等の支払いができるサービス。

## 選定理由

### （群馬県コメント）

納税方法の一つとして、ペイジーを導入したのは、群馬県内ではまだ桐生市のみである。全国的にみても導入例は少ない。

コンビニエンスストアにおける納税だけでなく、ペイジーを導入したことは、市民にとって非常に利便性が向上している。コンビニにおける納付が15.24%、ペイジーによる納付が6.14%となっており、コンビニ及びペイジーによる納付は20%を超えており、それだけのニーズはあるものと認識するものである。

さらに、県内他市町村にとってもイニシアチブとなりえるものとする。

## 背景

納付方法として、金融機関等及び市役所での窓口納付、口座振替納付を活用しているが、金融機関及び市役所での窓口納付については、取扱い時間等に制約があることから、時間や場所を選ばず納付できるコンビニ納付が求められていた。

実施について当初は、コンビニ収納だけを考えていたが、一部金融機関の取り扱いの問題や近年話題となっている自治体の電子化等も考慮することになり、ペイジー収納の実施もあわせて検討することになった。

平成20年4月から、コンビニ及びペイジー収納を同時に実施することになったが、最大の要因は、初期費用に大きく占める基幹システム改修費が、コンビニ、ペイジー収納をそれぞれ個別に導入するよりも、同時に導入する方が大きな節減になったことである。

## 具体的内容

### ○基幹システムの改修について

基幹システム改修に対する、コンビニ及びペイジー収納システムに対する考え方や在り方を検討した。

### ○業務運用の整理、納付書の準備について

実施後の事務処理の流れ等業務運用の整理及び体制の整備を検討した。また、MPN標準帳票及びコンビニガイドラインに対応した納付書を作成し、金融機関、コンビニエンスストアでの読み取りテストを行った。

### ○MPN連携・接続・確認試験について

ペイジー収納サービスの利用にあたり、接続試験、帳票認定等申請の関連手続き行い、実施に向け連携・接続・確認試験、帳票読み取りテストを行った。

### ○規則等の改正について

条例・規則・要領の整備、指定金融機関と契約内容等の取り決め事項の調整を行った。

### ○市民への広報について

広報やホームページによる市民への周知を行った。

## 取組中の課題・問題点

実施後、9か月を経過した平成20年11月末現在の納付状況及び督促状発布状況

- 納付状況割合は、金融機関等窓口納付 44.99%、口座振替納付 33.63%、コンビニ納付 15.24%、ペイジー納付率 6.14%
- 納期内納付率は、前年度と比較すると市・県民税 3.49%、固定資産税・都市計画税 3.26%、軽自動車税 8.24%、国民健康保険税▲4.04%で、全体では、1.46%増加
- 督促状等の発布枚数は、前年度と比較すると4%減少

## 工夫点

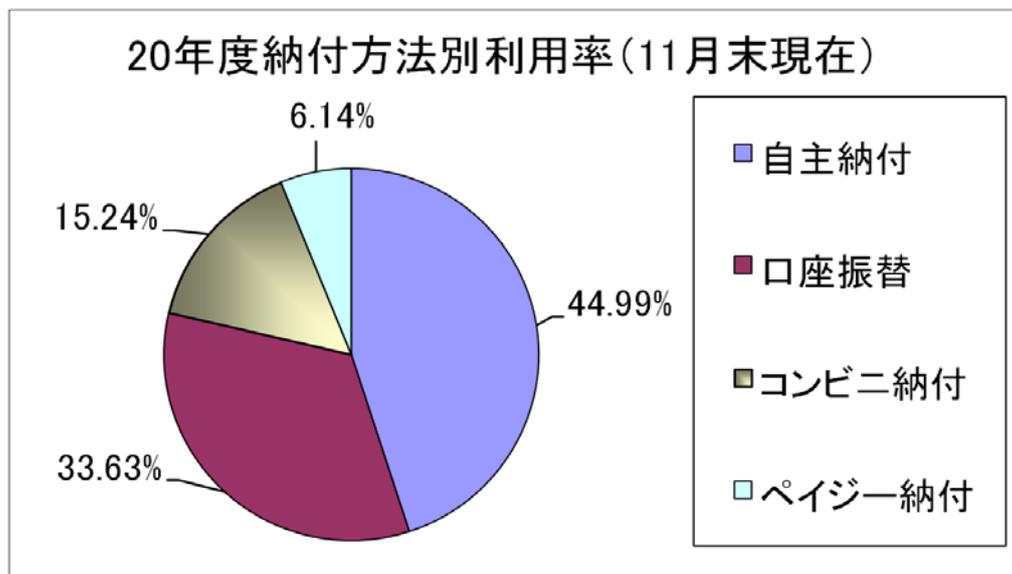
コンビニ収納では、延滞金まで同時徴収ができないため、延滞金未納者の該当者一覧並びに納付書を一括作成できるように、システムを更改した。

## 効果

特に、業務運用の整理、納付書準備の取組での問題点

- 基幹システムへの消し込みデータ処理の簡素化並びに他納付による消し込みデータとの一元化
- コンビニ及びペイジー収納情報の集計処理の簡素化
- ペイジー収納での、一括納付書の必要性

【参考:20 年度納付方法別利用率】



## 住民（職員）の反応・評価

- コンビニ収納では、予想以上の利用件数があり利便性向上の要因となっている。
- インターネットバンキング・モバイルバンキングの利用率は低く、ATM（ペイジー対応型）の利用率が高くなっている。インターネットバンキング・モバイルバンキングの取扱金融機関は、市の指定する金融機関に限定しているため、特に、県外納税者等からは利用できない旨の声が上がっている。
- 事務処理では、今までの郵便振替収納分をペイジー収納扱いにすることにより、基幹システムへの反映が早くなったことと、銀行納付とは違い納付日の確認処理がなくなったことから、職員の負担軽減に繋がっています。

## フォローアップ

- 納税通知書送付用封筒に、コンビニ及びペイジー収納について印刷しPRを行う。
- 市役所構内に設置してある河川表示板を利用して、コンビニ及びペイジー収納についてPRを行う。
- 職員が、ペイジー収納の操作方法や歳入についての知識を共有化する。

## 今後の課題

コンビニ及びペイジー収納の実施については、十分に周知されていないと思われるので、今後も積極的にPRを行う。

## 今後取り組む自治体に向けた助言

ペイジー収納実施のための準備期間は、最低1年間を必要とします。その中でも、納付書の仕様は、ゆうちょ銀行へ申請を行い認可を得る必要があります。作成にあたっては、詳細な基準が設定されています。ゆうちょ銀行では、他の収納機関からの申請も多くあるため、認可が下りるまで時間がかかりますので納付書の作成については、余裕を持って取り組まれた方がよいと思います。

## アドレス

<http://www.city.kiryu.gunma.jp/web/home.nsf/42fed222e9b38157492568fd002b273a/9555031c2a66a681492573a2002533a4?OpenDocument>